

第19回日本食海外普及功労者表彰 受賞者スピーチ

ブドア・スティール氏

皆さま、本日はお越しいただき、本当にありがとうございます。

農林水産省の皆さま、ご来賓の皆さま、そしてご列席の皆さま——このような素晴らしい賞をいただき、心から光栄に思います。今日の受賞は、私の日々の取り組みだけでなく、「生きがい」となった道のりそのものを認めていただいたものだと感じています。

私と日本茶の出会いは2008年、先生のお宅の茶室で、初めて一服の抹茶をいただいた時に始まりました。その小さな一瞬が、日本の茶文化の深さと美しさを私の心に開き、今日までずっと道を照らし続けてくれています。

これまでの道のりで、私には母のような存在の恩師が2人います。まず、茶道の師である大石美由紀先生—いつも私を信じて、茶の湯の世界へお導きいただき本当にありがとうございます。そして吉田美紀さん—いつも温かく見守り、支えてくださり、そのおかげでここまで歩むことができました。この賞は、お二人と共にいただくものだと思います。

また、Chawanの素晴らしいチームにも心から感謝しています。皆さんの支えがあったからこそ、私の活動はここまで広がりました。家族の励ましにも深く感謝しています。

さらに、在バーレーン日本国大使の岡井閣下には、日本文化への私の思いを汲み取っていただき、またこの賞へご推薦をいただき、心より感謝申し上げます。

日本大使館とのさまざまな取り組みを通して、日本の伝統を地域の皆さまに紹介し、両国の文化交流を深めることができました。

九州大学での日本文学の修士課程、そして茶道、着物、和菓子、ティーソムリエなどの学びを通して、私は日本文化の奥深さにふれることができました。そのすべてが、今の私の活動の基盤となっています。

特に、5人の日本の職人の技を紹介する、バーレーン初の展覧会を開催できたことは、大きな誇りです。お茶に欠かせない道具や食文化を支える職人の力を、地域の方々に知っていただく貴重な機会になりました。

2019年からは、七夕や文化の日、そして季節の味を楽しめる日本食まつりなど、毎年さまざまな文化イベントを開催しています。

また、日本茶・和菓子・茶懐石のつながりを伝えるワークショップやお茶会、茶事、そして湾岸地域や日本、ハワイ、フランス、カナダでの協力企画など、活動の幅を広げています。

農林水産省の皆さま——このような大きな励ましをいただき、本当にありがとうございます。

これからも、日本文化の美しさを世界中の皆さまにお届けできるよう、歩み続けたいと思います。本日は本当にありがとうございました。